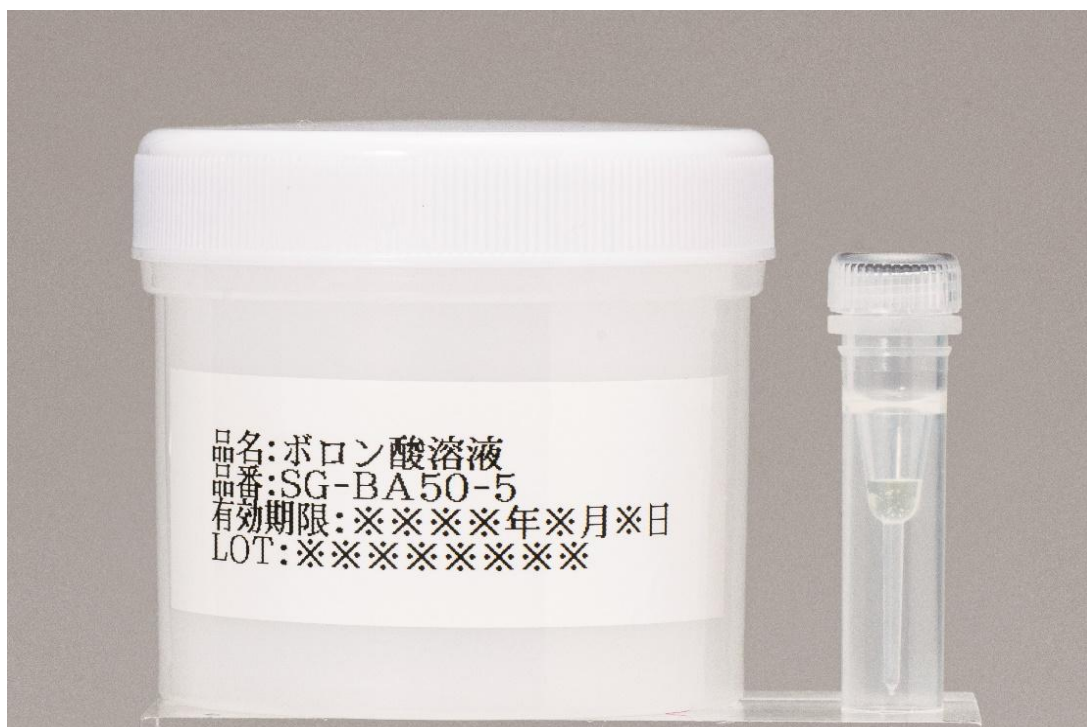


耐性菌検出試薬

ボロン酸溶液



測定原理

感受性試験に用いるディスクを用いて、本品を添加したディスクと未添加のディスクで得られる阻止円形を比較し、ベータラクタマーゼやカルバペネマーゼの産生を判断します。

品番	容量	価格（税抜）
SG-BA50-5	50 μ L : 5本入	5,700円
SG-BA50-10	50 μ L : 10本入	8,200円
SG-BA50-20PB	50 μ L : 20本入	14,400円
SG-BA50-50PB	50 μ L : 50本入	31,000円

※5本、10本は上記写真のプラスチック容器での販売となります。

※20本、50本はラミネート袋に入った梱包となっております。



株式会社スギヤマゲン

ボロン酸を用いたK P C型カルバペネマーゼの試験方法

- 1 ボロン酸を冷凍庫から出して常温にて融解してください。
- 2 滅菌水あるいは滅菌生理食塩水に純培養したコロニーを懸濁し、McFarland0.5の菌液を調製します。
- 3 調製した菌液を、ミューラーヒントン(MH)寒天平板培地に綿棒で均一に塗抹します。120度ずつ角度を変えて塗抹することを3～4回行います。(参考:M02Ed13Eでは、培地全面に塗布したのち、60度ずつ角度を変え、さらに2回同様に塗布する旨の記載があります。)
- 4 同じ薬剤のディスクを2枚3cm離して培地上に置き、2枚の一方に本品(ボロン酸)を10 μ L添加します。
- 5 35°Cで一晩(16から18時間)培養後、ボロン酸の添加により阻止円径の拡張(原則5mm以上)を認めた場合、陽性と判断します。

測定に使用する薬剤は、以下の文献を参考に選択してください。

- ・ 国立感染症研究所 病原体検出マニュアル

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE) Ver3.0 2025.4

- ・ T. Yagi, et. al. 2005. Practical Methods Using Boronic Acid Compounds for Identification of Class C β -Lactamase-Producing *Klebsiella pneumoniae* and *Escherichia coli*. J. Clin. Microbiol. 43(6): 2551–2558.

判定

35°Cで一晩(16から18時間)培養後、ボロン酸の添加により阻止円径の拡張(原則5mm以上)を認めた場合、陽性と判断します。

保存

冷凍 (-20°C以下) 保存

〈製造〉 株式会社アクテック 〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室7044番地 〈販売〉 株式会社スギヤマゲン 〒113-0033 東京都文京区本郷2-34-9 TEL:03-3814-0285 FAX:03-3815-3045	
--	--